

令和2年7月2日  
全学内部質保証委員会決定  
令和3年5月19日  
全学教育内部質保証委員会一部改正

## 情報学部情報科学科 教育の質保証ガイドライン

情報学部情報科学科では、当該学部学科での教育プログラムにもとづいて修得した知識、技能ならびに取り組む姿勢の評価を以下の通り行います。また、教育プログラムの内容、授業の方法が適切に実行されているかを以下の通り検証します。

### 1. 評価の内容と方法

#### (内容)

講義科目では、知識とその応用力を主として評価します。

実験・演習・実技科目では、知識とその応用力を評価します。さらに、技能、取り組む姿勢、コミュニケーション能力についても評価します。

卒業研究では、知識、論理的思考力、問題解決能力、プレゼンテーション能力等を評価します。

#### (方法)

知識とその応用力については、筆記試験、報告書等によって評価します。

技能、取り組む姿勢、コミュニケーション能力については、作成したソフトウェア、報告書、外部資格試験の点数、実験・演習・実技への取り組みの様子、等によって評価します。

卒業研究は、中間発表会、最終発表会、卒業論文によって、当該研究分野における世の中の動向、研究の位置付け、研究の目的、研究の方法、結果の分析と考察、等について、ルーブリック評価等により確認します。

### 2. 評価の基準

筆記試験を行える場合は、試験の点数を達成度とします。筆記試験を行えない

場合は、達成度評価のための評価方法を用いて評価します。評価方法については可能な限り公表します。

科目の成績は、「秀」「優」「良」「可」「不可」で表記され、「秀」「優」「良」「可」を合格とし、履修単位として認めます(秀:100～90点、優:90点未満～80点、良:80点未満～70点、可:70点未満～60点、不可:60点未満)。

「不可」となった科目については不合格とします。

成績は、GP(各科目のグレードポイント)=(成績評点(数字)-55)÷10  
(但し、0.5未満の場合は0.0とする。100点満点)に換算し、GPA ( $\Sigma$ (GP × 当該科目の単位数) ÷ 履修総単位数)を算出して、学生に提示します。

なお、成績評価が「認定」の科目はGP算定の対象としません。また、カリキュラム上の卒業要件でない科目もGP算定の対象としません。

### 3. 教育プログラムの点検と評価

情報学部情報科学科の教育プログラムについての点検と評価を実施する情報学部内部質保証委員会を設置します。当該委員会は、情報学部の3学科の委員で構成されます。

教育プログラムの点検と評価として、年に一度科目GPAの平均値、授業アンケート、IR調査の結果等の分析による点検、その点検結果にもとづく評価を実施し、教育内容および教育方法の改善案を作成し改善を実施します。また、その点検・評価の実施状況については、全学教育内部質保証委員会に報告を行い、教育内容および教育方法の改善のPDCAサイクルの確認等を行います。

### 4. その他オリジナル項目

情報学部情報科学科の教育プログラムは、一般社団法人情報処理学会が策定しているカリキュラム標準のうち、コンピュータ科学領域をベースとして策定しています。カリキュラム標準改定にあわせて、情報学部情報科学科の教育プログラムを見直しています。

## 情報学部情報社会学科 教育の質保証ガイドライン

情報学部情報社会学科では、当該学部学科での教育プログラムにもとづいて修得した知識、技能ならびに取り組む姿勢の評価を以下の通り行います。また、教育プログラムの内容、授業の方法が適切に実行されているかを以下の通り検証します。

### 1. 評価の内容と方法

#### (内容)

講義科目では、知識とその応用力を主として評価します。

演習科目では、知識とその応用力を評価します。さらに、取り組む姿勢、コミュニケーション能力についても評価します。

卒業研究では、知識とその応用力を評価します。さらに、論理的思考力、総合的な実践力についても評価します。

#### (方法)

知識とその応用力については、定期試験やレポート等によって総合的に評価します。

その他の能力については、定期試験やレポートの他、演習への取り組みの様子、成果物、プレゼンテーション等によって評価します。

また、卒業研究については、卒業研究に関する発表会、卒業論文等を通じて、研究の背景、研究の目的、研究の方法、結果の分析と考察等について評価します。

### 2. 評価の基準

筆記試験を行える場合は、試験の点数を達成度とします。筆記試験を行えない場合は、達成度評価のための評価方法を用いて評価します。評価方法については可能な限り公表します。

科目の成績は、「秀」「優」「良」「可」「不可」で表記され、「秀」「優」「良」「可」を合格とし、履修単位として認めます(秀:100~90点、優:90点未満~80点、良:80点未満~70点、可:70点未満~60点、不可:60点未満)。

「不可」となった科目については不合格とします。

成績は、GP(各科目のグレードポイント)=(成績評点(数字)-55)÷10

(但し、0.5未満の場合は0.0とする。100点満点)に換算し、GPA (Σ(GP × 当該科目の単位数) ÷ 履修総単位数) を算出して、学生に提示します。

なお、成績評価が「認定」の科目はGP算定の対象としません。また、カリキュラム上の卒業要件でない科目もGP算定の対象としません。

### 3. 教育プログラムの点検と評価

情報学部情報社会学科の教育プログラムについての点検と評価を実施する情報学部内部質保証委員会を設置します。当該委員会は、情報学部の3学科の委員で構成されます。

教育プログラムの点検と評価として、年に一度科目GPAの平均値、授業アンケート、IR調査の結果等の分析による点検、その点検結果にもとづく評価を実施し、教育内容および教育方法の改善案を作成し改善を実施します。また、その点検・評価の実施状況については、全学教育内部質保証委員会に報告を行い、教育内容および教育方法の改善のPDCAサイクルの確認等を行います。

### 4. その他オリジナル項目

情報学部情報社会学科の教育プログラムでは、社会調査士及び学芸員の資格に関わる科目を配置しています。

## 情報学部行動情報学科 教育の質保証ガイドライン

情報学部行動情報学科では、当該学部学科での教育プログラムにもとづいて修得した知識、技能ならびに取組む姿勢の評価を以下の通り行います。また、教育プログラムの内容、授業の方法が適切に実行されているかを以下の通り検証します。

### 1. 評価の内容と方法

#### (内容)

講義科目では、知識とその応用力を主として評価します。

演習科目では、知識とその応用力を評価します。さらに、コミュニケーション能力、マネジメント能力、取組む姿勢、技能を評価します。

卒業研究においては、論文と最終発表を評価します。

#### (方法)

知識とその応用力については、筆記試験や課題レポート等により評価します。

技能、取組む姿勢、コミュニケーション能力、マネジメント能力については、成果物（作成したソフトウェアやシステム、報告書、マニュアル等）、演習への取組みの様子、等によって評価します。

卒業研究は、最終発表会ならびに卒業論文において、問題設定、関連研究の調査、研究の目的、研究の方法、結果の分析と考察、等によって総合的に評価します。

### 2. 評価の基準

筆記試験を行える場合は、試験の点数を達成度とします。筆記試験を行えない場合は、達成度評価のための評価方法を用いて評価します。評価方法については可能な限り公表します。

科目の成績は、「秀」「優」「良」「可」「不可」で表記され、「秀」「優」「良」「可」を合格とし、履修単位として認めます(秀:100～90点、優:90点未満～80点、良:80点未満～70点、可:70点未満～60点、不可:60点未満)。

「不可」となった科目については不合格とします。

成績は、GP(各科目のグレードポイント)=(成績評点(数字)-55)÷10

(但し、0.5未満の場合は0.0とする。100点満点)に換算し、GPA (Σ(GP × 当該科目の単位数) ÷ 履修総単位数) を算出して、学生に提示します。

なお、成績評価が「認定」の科目はGP算定の対象としません。また、カリキュラム上の卒業要件でない科目もGP算定の対象としません。

### 3. 教育プログラムの点検と評価

情報学部行動情報学科の教育プログラムについての点検と評価を実施する情報学部内部質保証委員会を設置します。当該委員会は、情報学部の3学科の委員で構成されます。

教育プログラムの点検と評価として、年に一度科目GPAの平均値、授業アンケート、IR調査の結果等の分析による点検、その点検結果にもとづく評価を実施し、教育内容および教育方法の改善案を作成し改善を実施します。また、その点検・評価の実施状況については、全学教育内部質保証委員会に報告を行い、教育内容および教育方法の改善のPDCAサイクルの確認等を行います。

### 4. その他オリジナル項目

なし